

INFORMATION

プラネタリウム

アイズ・オブ・ハッブル

太陽系、超新星、ブラックホール…。ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた数々の驚異的な映像で描く、いま最も新しい宇宙像。

1月13日(土)→4月7日(日)

平日	17:30
春休み平日	11:30 14:30 17:30
土曜	11:30 14:30 17:30
日・祝日	11:30 14:30

全天周映画

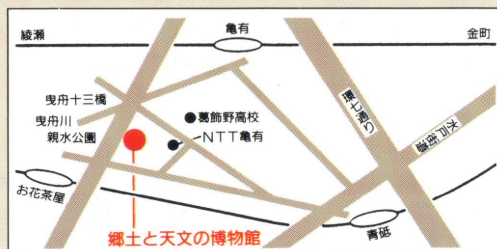
ジャーニー・インサイド

マイクロチップをめぐるエイリアンの陰謀とそれに立ち向かう少年の戦いを SFX を駆使して描く、超未来体感アドベンチャー。

10月3日(火)→3月31日(日)

平日	16:00 19:00
春休み平日	10:00 13:00 16:00 19:00
土・日・祝	10:00 13:00 16:00

交通のご案内



- 京成線 [お花茶屋] から8分
- JR常磐線 [亀有] から25分
- 京成バス (新小53 亀有ー新小岩) [博物館前] 下車すぐ
- 駐車場に限りがございます。電車・バスをご利用ください。

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

土曜の夜だけの特別プログラム。最新鋭プラネタリウムによる満天の星空と心地良いサウンド、そして宇宙の話題が織りなすファンタジックなひとときをお楽しみください。

土曜	19:00
	1月13・20・21日
	2月3・10・17日
	3月2・9・16・23日

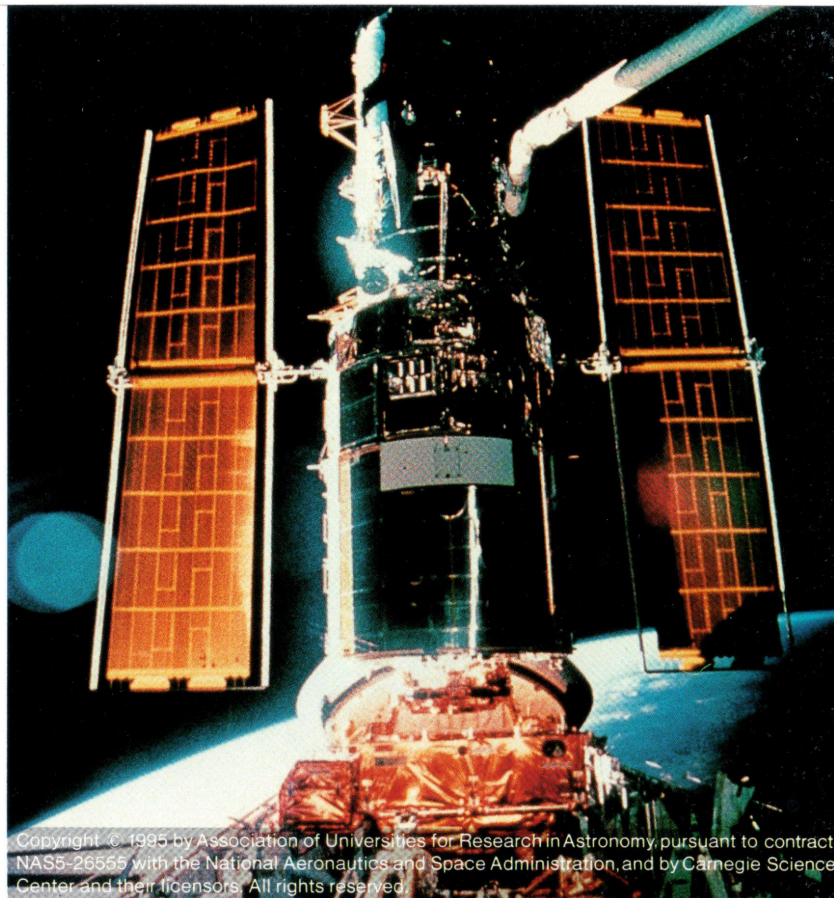
■料金 (入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円

■休館日

月曜日 (祝日は開館) / 第2・4火曜日
4月10日(水)~12日(金)のプラネタリウム・全天周映画は番組入れ替えのため休演。

■上映15分前までにご来館ください。

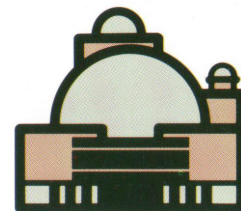


Copyright © 1995 by Association of Universities for Research in Astronomy pursuant to contract NAS5-26555 with the National Aeronautics and Space Administration, and by Carnegie Science Center and their licensors. All rights reserved.

PLANETARIUM

アイズ・オブ・ハッブル ~ハッブル宇宙望遠鏡の挑戦~

Vol. 19 1996・冬-春



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

葛飾区



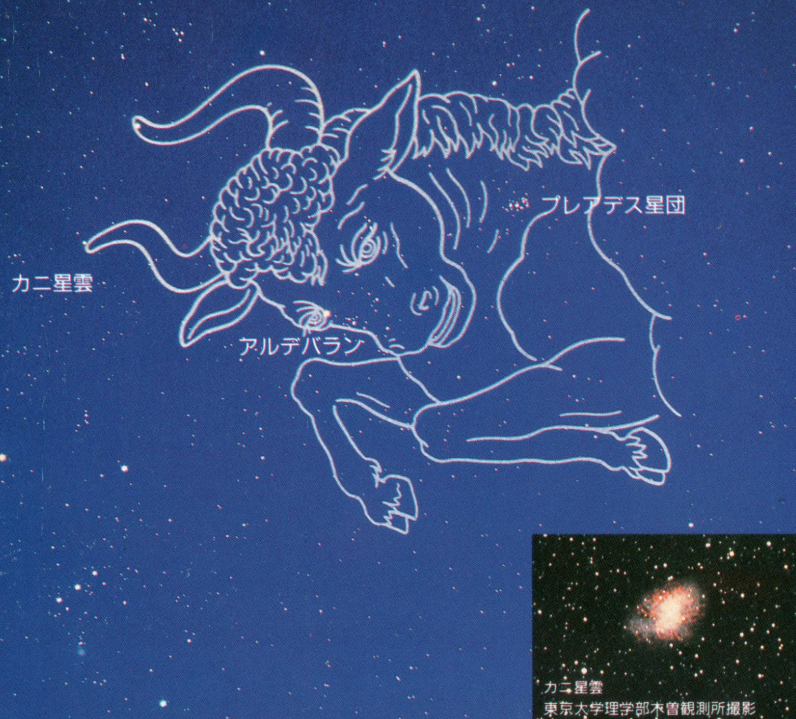
葛飾区郷土と天文の博物館

〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101

1996年・冬の星空より

冬の夜空を、おうしが駆ける。



■おうし座を探してみよう

冬の夜空という、ついオリオン座に目が行ってしまいがちですが、その隣に輝く『おうし座』も、一度覚えたら忘れられない形をしています。

まず、オレンジ色の1等星アルデバランのまわりを見ると、星々がVの字に並んでいます。この『ヒアデス星団』が、牡牛の顔。さらに北東にある2つの星を結び、長い角ができます。勢いよく跳ね上げた前足もたどることができます。さらに背中には、プレアデス星団の星たちが青白い光を放っています。ギリシア神話では、大神ゼウスが変身した

白い牛の姿。背中に王女エウロペを乗せたまま海を渡ったと言われていました。確かに、そんな神話にふさわしい躍動感のある姿です。

■星の大爆発の名残

おうしの角の先にあるカニ星雲は、1054年にここで超新星となって爆発した星の残骸。今も時速4,000,000km以上という猛スピードで膨張を続けています。その中心にあるパルサーは非常に高密度な中性子星で、毎秒30回も自転しながら強い電波を出しています。

現実のおうし座には、神話以上にスピード感あふれる天体があるのです。

ハッブルとハッブル



宇宙の膨張を発見した天文学者

有名なアンドロメダ星雲は、銀河系の中にあるのか外にあるのか…。今世紀始め、天文学者たちが繰り広げていたこの大論争にピリオドを打ったのが、エドウィン・ハッブルです。1923年、彼はアンドロメダ星雲の中に『ケフェウス型変光星』を発見し、その明るさと変光の周期から距離を計算、この星雲が銀河系の彼方にある別の『銀河』であることを証明したのです。

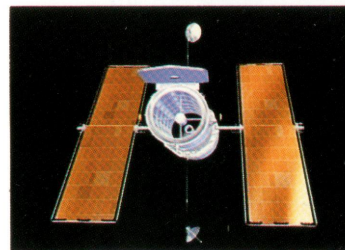
EDWIN HUBBLE

エドウィン・ハッブル(1889-1953)

さらに彼は、銀河のスペクトルのドップラー効果から、ほとんど全ての銀河が我々から遠ざかっていて、しかも遠いものほど速く遠ざかるという『ハッブルの法則』を発表。宇宙が膨張していることを示しました。

宇宙に浮かぶ超高性能の天文台

ハッブル宇宙望遠鏡は、大気圏の上から宇宙を観測するために1990年に打ち上げられました。当初は反射鏡の欠陥のため性能を発揮できずにいましたが、1993年12月のスペースシャトル・エンデバー号による大修理によって本来の性能を取り戻すと、驚異的な映像を次々と地球に送信し、それまでの天文学を大きく塗り替えています。



大気の影響を全く受けない宇宙望遠鏡は、地上の望遠鏡を遙かに上回る性能を持っているため、エドウィン・ハッブルが発見した宇宙の膨張をより詳しく観測し、宇宙論を大きく発展させるのではないかと期待されています。

HUBBLE SPACE TELESCOPE

ハッブル宇宙望遠鏡

写真のクレジット：Copyright ©1995 by Association of Universities for Research in Astronomy, pursuant to contract NAS5-26555 with the National Aeronautics and Space Administration, and by Carnegie Science Center and their licensors. All rights reserved.

THROUGH THE EYES OF HUBBLE

アイス・オブ・ハッブル
ハッブル宇宙望遠鏡の挑戦

■日本初公開。これが世界最先端のプラネタリウム・ショー。

アメリカ・ペンシルベニア州ピッツバーグ。ここに、世界で最も進んだプラネタリウムと言われているカーネギー科学館があります。私たちは、この最先端のプラネタリウムの番組を初めて日本で再現することに挑戦しました。それがこの『アイス・オブ・ハッブル』です。

この番組は、同科学館とスペーステレスコープ科学研究所が共同制作したもの。動かない映像が中心の日本の番組とは違い、コンピュータグラフィックスや実写映像を駆使したダイナミックな演出が特徴です。

内容もハイレベルです。一度見ただけで全てを理解することは難しいかも知れませんが、天文学の最前線の雰囲気を感じ取っていただければと思います。

日本語版ナレーター：檀 ふみ(女優)

